

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月6日

上場会社名 いすゞ自動車株式会社

上場取引所 東

コード番号 7202 URL <http://www.isuzu.co.jp/investor/index.html>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 細井 行

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部総務グループリーダー (氏名) 甲山 博敏

TEL 03-5471-1141

四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
21年3月期第3四半期	1,200,107	—	37,567	—	36,357	—	18,361	—
20年3月期第3四半期	1,304,464	6.4	76,364	△10.8	85,000	△8.8	61,442	△20.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	10.83	—
20年3月期第3四半期	35.98	35.73

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
21年3月期第3四半期	1,142,917	390,685	29.7	200.54
20年3月期	1,245,947	415,278	28.9	212.53

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 339,837百万円 20年3月期 360,257百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
21年3月期	—	3.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有  
現時点では、期末配当予想額は未定であります。

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	1,460,000	△24.1	9,000	△91.8	2,000	△98.4	△15,000	—	△8.85

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 2社(社名 いすゞノースアメリカコーポレーション・いすゞモーターズアメリカエルシー ) 除外 2社(社名 いすゞモーターズアクセプタンスコーポレーション・いすゞモーターズアメリカインク )

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照下さい。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照下さい。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 1,696,845,339株 20年3月期 1,696,845,339株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 2,193,540株 20年3月期 1,759,316株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 1,694,987,184株 20年3月期第3四半期 1,695,199,605株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 平成20年11月5日に公表致しました通期の連結業績予想を本資料において修正しております。

(2) 期末配当予想額につきましては、現時点では未定とし、通期の業績実績などを総合的に勘案した上でご提案させていただきます。詳細につきましては、本日公表の「平成21年3月期 配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

(3) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等について、及び上記1に係る業績予想の具体的修正内容は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧下さい。

(4) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出・生産の大幅な減少、企業収益・雇用情勢の急激な悪化など、景気は急速に後退してまいりました。

また、海外でも欧米の景気は後退しており、アジア経済も一段と減速してまいりました。先行きにつきましても、当面この悪化基調が続くと見込まれ、急速な減産の動きとそれに伴う大幅な雇用調整、世界的な金融危機の深刻化に伴う株式・為替市場の変動の影響など、景気をさらに下押しすることが懸念されております。

このような状況の中で当社グループは、市場の不透明感が当面継続することを前提に、環境変化に対する感度の向上と、柔軟かつ迅速な対応策の実施に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の国内販売台数につきましては、需要が減少する中、前年同期に比べ9,102台（17.0%）減少の44,557台となりました。海外販売台数につきましては、中近東及び中南米地域で小型車を中心に販売が伸び、前年同期に比べ24,570台（8.9%）増加し、302,014台となりました。

その他の商品の売上高につきましては、アジア地域への輸出が増加したものの、南米及びアフリカ地域への輸出が減少したことにより、海外生産用部品は前年同期に比べ78億円（10.9%）減少の639億円となりました。また、エンジン・コンポーネントは北米及びアジア地域への輸出が減少し、前年同期に比べ372億円（18.9%）減少の1,603億円となりました。

以上により、売上高につきましては、1兆2,001億円と前年同期に比べ1,043億円（8.0%）減少致しました。内訳は、国内が4,239億円（前年同期比12.5%減）、海外が7,761億円（前年同期比5.3%減）であります。

損益につきましては、コストの合理化努力にもかかわらず、売上の減少に加え、原材料価格の上昇及び円高の影響が重なり、営業利益は前年同期に比べ387億円（50.8%）減少し375億円、経常利益は486億円（57.2%）減少し363億円となりました。

また、四半期純利益は前年同期に比べ430億円（70.1%）減少し、183億円となりました。

なお、前年同期比は参考として記載しております。

#### [所在地別セグメントの業績]

##### ① 日本

需要が減少する中、輸出車両売上が増加したものの、国内車両売上の減少により、売上高は8,680億円となりました。また営業利益は、144億円となりました。

##### ② 北米

北米では、金融危機を背景とする米国経済の減速により、小型トラックを中心に販売台数が減少し、売上高は715億円となりました。また営業利益は、26億円となりました。

##### ③ アジア

前年同期に比べタイ生産のピックアップトラックが販売を伸ばしたものの、円高による為替換算の影響を受け、売上高は3,465億円となりました。また営業利益は、190億円となりました。

##### ④ その他

豪州における販売が順調に推移したものの、円高による為替換算の影響を受け、売上高は616億円となりました。また営業利益は、18億円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,030億円減少の1兆1,429億円となりました。受取手形及び売掛金が737億円、現金及び預金が317億円減少しております。

純資産の部では、四半期純利益の183億円計上されましたが、配当金の支払いにより135億円減少したことに加え、為替換算調整勘定が197億円減少したことにより、純資産は前連結会計年度末と比べ245億円減少し、3,906億円となりました。自己資本比率は29.7%（前年度末28.9%）に増加しております。有利子負債につきましては、前連結会計年度末に比べて313億円増加し、2,880億円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,650,000	60,000	60,000	40,000	23.60
今回修正予想 (B)	1,460,000	9,000	2,000	△15,000	△8.85
増減額 (B-A)	△190,000	△51,000	△58,000	△55,000	—
増減率 (%)	△11.5%	△85.0%	△96.7%	—	—
前期実績	1,924,833	109,573	122,322	76,021	44.60

平成21年3月期通期の業績は、世界的な実体経済の急減速に伴う販売台数減及び為替の想定を上回る円高推移等により、平成20年11月5日に公表した予想値を下回る見通しとなりましたので、業績予想を修正致します。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当第3四半期連結累計期間において、いすゞノースアメリカコーポレーション及びいすゞモーターズアメリカエルエルシーは新規設立のため、連結の範囲に含んでおります。

また、当第3四半期連結累計期間において、当社の連結子会社であったいすゞモーターズアクセプタンスコーポレーションは清算したため、いすゞモーターズアメリカインクはいすゞモーターズアメリカエルエルシーと合併したため、連結子会社より除外しております。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### 1. 簡便な会計処理

##### ① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

##### ② 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

##### ③ 経過勘定項目の算定方法

経過勘定項目については、合理的な算定方法による概算額で計上しております。

##### 2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

##### ① 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前四半期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### 1. 会計処理基準に関する事項の変更

##### ① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日内閣府令第50号）附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

② 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

この結果、従来の方法に比べ、営業利益、経常利益に与える影響は軽微です。また、税金等調整前四半期純利益は791百万円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

この結果、従来の方法に比べ、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微です。

2. 追加情報

① 固定資産の耐用年数の変更

当社及び国内連結子会社の機械装置の耐用年数については、法人税法の改正を契機として見直しを行い、第1四半期連結会計期間より変更致しました。

この結果、従来の方法に比べ、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微です。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	107,743	139,503
受取手形及び売掛金	183,046	256,802
有価証券	—	5,400
商品及び製品	115,560	100,186
仕掛品	11,247	18,379
原材料及び貯蔵品	38,548	33,502
繰延税金資産	25,439	28,428
その他	33,233	32,639
貸倒引当金	△2,629	△2,342
流動資産合計	512,188	612,499
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	101,256	101,425
機械装置及び運搬具（純額）	89,805	89,569
土地	269,140	268,680
建設仮勘定	20,620	17,284
その他（純額）	13,440	16,518
有形固定資産合計	494,264	493,478
無形固定資産		
その他	8,184	8,607
無形固定資産合計	8,184	8,607
投資その他の資産		
投資有価証券	98,522	104,585
長期貸付金	4,016	3,799
繰延税金資産	12,329	10,298
その他	23,032	21,545
貸倒引当金	△9,621	△8,867
投資その他の資産合計	128,279	131,362
固定資産合計	630,728	633,448
資産合計	1,142,917	1,245,947

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間末  
(平成20年12月31日)

前連結会計年度末に係る  
要約連結貸借対照表  
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	250,607	323,664
短期借入金	83,349	69,833
1年内償還予定の社債	—	12
未払法人税等	3,960	13,478
未払費用	36,486	52,710
賞与引当金	6,772	13,063
製品保証引当金	3,917	4,205
預り金	6,276	3,410
その他	29,298	33,540
流動負債合計	420,668	513,920
固定負債		
社債	50,000	50,048
長期借入金	154,741	136,883
繰延税金負債	2,705	3,843
再評価に係る繰延税金負債	55,818	55,827
退職給付引当金	57,744	57,186
長期預り金	1,397	1,386
負ののれん	418	612
その他	8,736	10,960
固定負債合計	331,563	316,748
負債合計	752,231	830,668
純資産の部		
株主資本		
資本金	40,644	40,644
資本剰余金	50,427	50,427
利益剰余金	190,627	185,601
自己株式	△563	△463
株主資本合計	281,135	276,209
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,872	7,415
繰延ヘッジ損益	△21	245
土地再評価差額金	73,195	73,956
為替換算調整勘定	△17,344	2,428
評価・換算差額等合計	58,701	84,047
少数株主持分	50,848	55,021
純資産合計	390,685	415,278
負債純資産合計	1,142,917	1,245,947

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	1,200,107
売上原価	1,061,392
売上総利益	138,715
販売費及び一般管理費	101,147
営業利益	37,567
営業外収益	
受取利息	3,036
受取配当金	812
負ののれん償却額	237
持分法による投資利益	7,781
その他	2,217
営業外収益合計	14,085
営業外費用	
支払利息	5,141
為替差損	3,846
訴訟和解金	3,219
その他	3,088
営業外費用合計	15,296
経常利益	36,357
特別利益	
関係会社出資金売却益	176
その他	368
特別利益合計	544
特別損失	
固定資産処分損	981
貸倒引当金繰入額	1,124
たな卸資産評価損	712
その他	1,627
特別損失合計	4,444
税金等調整前四半期純利益	32,457
法人税等	8,879
少数株主利益	5,216
四半期純利益	18,361

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	32,457
減価償却費	29,648
負ののれん償却額	△237
持分法による投資損益 (△は益)	△7,781
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	814
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△288
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,268
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,201
受取利息及び受取配当金	△3,849
支払利息	5,141
固定資産処分損益 (△は益)	981
その他の特別損益 (△は益)	1,020
売上債権の増減額 (△は増加)	60,885
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△22,122
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△4,572
仕入債務の増減額 (△は減少)	△60,495
未払費用の増減額 (△は減少)	△15,444
預り金の増減額 (△は減少)	2,924
その他の負債の増減額 (△は減少)	2,714
その他	△72
小計	16,656
利息及び配当金の受取額	8,009
利息の支払額	△4,224
法人税等の支払額	△16,407
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,034
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△1,473
投資有価証券の売却による収入	19
固定資産の取得による支出	△45,215
固定資産の売却による収入	692
長期貸付けによる支出	△1,024
長期貸付金の回収による収入	90
短期貸付金の増減額 (△は増加)	49
定期預金の増減額 (△は増加)	429
その他	△1,625
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,056



(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	7,419
長期借入れによる収入	49,413
長期借入金の返済による支出	△25,573
社債の償還による支出	△60
自己株式の取得による支出	△97
配当金の支払額	△13,108
少数株主への配当金の支払額	△3,231
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,763
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,432
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△39,691
現金及び現金同等物の期首残高	149,721
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	901
現金及び現金同等物の四半期末残高	110,931

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日内閣府令第50号）附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）

当社グループは、自動車及び部品並びに産業用エンジンの製造、販売（自動車事業）を主な事業としており、全セグメントの売上高の合計および営業利益の合計額に占める自動車事業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

b. 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
外部顧客に対する売上高	766,962	66,924	307,314	58,906	1,200,107	—	1,200,107
セグメント間の内部売上高	101,081	4,604	39,238	2,716	147,640	△147,640	—
計	868,043	71,528	346,553	61,622	1,347,748	△147,640	1,200,107
営業利益	14,470	2,634	19,050	1,841	37,996	△428	37,567

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によります。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 … 米国

(2) アジア … シンガポール、中国、フィリピン、タイ、インドネシア

(3) その他の地域 … オーストラリア、南アフリカ、ドイツ

3. 当第3四半期連結累計期間における配賦不能営業費用はありません。

4. 会計処理の方法の変更

重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）に変更致しました。

この結果、従来の方法に比べ、「日本」の営業利益に与える影響は軽微です。

c. 海外売上高

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	68,178	323,437	384,533	776,148
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	1,200,107
III 海外売上高の連結売上高に占める割合(%)	5.7	27.0	32.0	64.7

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によります。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1)北米…米国

(2)アジア…中国、タイ、インドネシア、フィリピン

(3)その他の地域…イギリス、ドイツ、スペイン、チリ、南アフリカ、オーストラリア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	1,304,464
II 売上原価	1,124,705
売上総利益	179,759
III 販売費及び一般管理費	103,394
営業利益	76,364
IV 営業外収益	17,870
V 営業外費用	9,234
経常利益	85,000
VI 特別利益	478
VII 特別損失	6,536
税金等調整前四半期純利益	78,942
法人税等	11,361
少数株主利益	6,138
四半期純利益	61,442

## (2) 地域別販売実績

前第3四半期連結累計期間の販売実績は、次のとおりです。

		前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)	
		台数(台)	金額 (百万円)
	国内	21,235	167,131
	海外	23,135	96,036
大型・中型車計		44,370	263,168
	国内	32,424	95,238
	海外	254,309	416,504
小型車他計		286,733	511,743
	国内	53,659	262,369
	海外	277,444	512,541
車両計		331,103	774,911
	海外	—	71,807
海外生産用部品		—	71,807
	国内	—	40,089
	海外	—	157,511
エンジン・コンポーネント		—	197,600
	国内	—	182,161
	海外	—	77,982
その他		—	260,144
	国内	—	484,620
	海外	—	819,843
売上高合計		—	1,304,464

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 6. その他の情報

### 地域別販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績は、次のとおりです。

		当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
		台数(台)	金額 (百万円)
	国内	16,593	133,179
	海外	25,695	114,367
大型・中型車計		42,288	247,546
	国内	27,964	85,473
	海外	276,319	405,905
小型車他計		304,283	491,379
	国内	44,557	218,653
	海外	302,014	520,273
車両計		346,571	738,926
	海外	—	63,964
海外生産用部品		—	63,964
	国内	—	38,126
	海外	—	122,190
エンジン・コンポーネント		—	160,316
	国内	—	167,180
	海外	—	69,720
その他		—	236,900
	国内	—	423,959
	海外	—	776,148
売上高合計		—	1,200,107

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。